

外壁塗膜防水材料

セブンウォール

水性なみがた仕上 S工法
1液型アクリルシリコン樹脂塗料

既存タイル面 施工要領書

 株式会社セブンケミカル

下地処理

1. 下地摘要範囲

タイル張り仕上げ面（タイル面直接 または 下地塗膜の処理後、タイル面も直接塗る場合）

2. 下地調整

- ① タイルの浮き、ひび割れ、等は注入剤で止める。タイル目地瘦幅の広い部分は予め、目地モルタル等で処理または、セブンウォール主材を埋め込んで下さい。
タイルと塗装塗膜の付着力を確認して下さい。（クロスカット法等）。塗膜の浮き、脆弱部は剥がして下さい。
- ② 下地表面に、ほこり、セメントノロ粉、エフロレッセンス、型枠剥離剤の残存物などが付着している場合は、ワイヤーブラシ、サンダー、シンナーなどで除去清掃する。
- ③ 下地の不陸、目違い、突起（でっぱり、すじ、波打ち）、豆板、気泡穴などがある場合は、はつり、サンディング、モルタル補修、パテ処理を行い、仕上げ模様により許容できる範囲に調整する。
- ④ 下地のヘアークラックは、刷毛又はゴムベラなどで、セブンウォール主材を拾い塗りして下さい。
大きなクラックはUカットし、シーリング材を充填し、更に、弾性モルタル等で平滑に仕上げ上げる。
(ポリサルファイド系などを使用するときは塗装仕上がり面まで変色させることがあります。)
- ⑤ モルタル仕上げの場合は、木ゴテまたは、金ゴテ仕上げを行う。
- ⑥ 下地調整、洗浄後は、下地及び表面を十分に乾燥させて下さい。

セブンウォールの施工

□ タイル面へのセブンウォールの工程(S工法) なみがた仕上げ(水系)

| 工程 | 使用材料 | 希釈 (重量%) | 所要量 (Kg/m ²) | 塗り 回数 | 工程間隔 (時間) | 使用器具 | |
|----|--------|--------------------|-----------------------------|------------|--------------|---------------------|---------------------|
| 1 | 下塗り | 無希釈 | 0.15～ 0.2 | 1 | 2以上 | 中毛ローラー スプレー、刷毛など | |
| 1 | 下塗り | | | 水性セブンSシーラー | | 1 | 中毛ローラー スプレー、刷毛など |
| 2 | 主材基層塗り | セブンウォール主材 | 清水 2～3 | 1.0 | 1 | 5以上 | 多孔質ローラー |
| 3 | 主材模様塗り | セブンウォール主材 | 清水 2～3 | 1.0 | 1 | 24以上 | 多孔質ローラー |
| 4 | 上塗り | セブンウォールトップ W-SS | 清水 0～20 | 0.3 | 2 | 5以上 (工程内) | 中毛ローラー スプレー、刷毛など |

工程1は、塗水性／溶剤 型どちらかのシーラーを選んで下さい。

□ 施工環境

- ① 気温5℃以下、湿度80%以上の施工は、使用材料の造膜性に支障をきたす恐れがあるので、施工を避ける。
- ② 降雨降雪、霧発生のあるときは、施工を避ける。
- ③ 風速5m/sec以上の時は、飛散公害防止のため、適当なシート養生を施し、施工に十分注意する。
- ④ 養生材には、ポリフィルム、クラフト紙、新聞紙などを、粘着テープで貼り付け、塗装面以外の箇所を汚染しないようにする。
- ⑤ 下塗り材水性セブSシーラー及び、上塗材セブンウォールトップW-SS は、水性ですので、保管場所に気を付け凍結などに十分注意する。

セブンウォールの標準施工方法

1. 養生

2. 施工前の注意

施工に入る前に試験塗りをを行い、パターン、色を十分に確認する。

3. シーラー処理

下地タイルと主材との接着をより強固にするために、セブンSシーラー／水性セブンSシーラーを、エアレススプレー、ウールローラー、刷毛などで、下地面に均一に無希釈でムラ無く十分塗付する。(2液型)

4. 主材塗り

●模様塗り

- ① 材料は、上下層を攪拌機で、気泡の入らないよう均一に混合して使用する。
- ② 気温、湿度等の状況により必要に応じて2～3%の水で調整する。
- ③ セブンウォール主材を多孔質ローラーで $1.0\text{Kg}/\text{m}^2$ 均一にむらなく塗布する。
- ④ 模様塗りの塗膜は、防水層として機能を果たせるもので、十分に注意して均一にむらなく仕上げる。
- ⑤ 5時間以上乾燥させる。

●模様塗り 2回目

- ① 材料は、上下層を攪拌機で、気泡の入らないよう均一に混合して使用する。
- ② 気温、湿度等の状況により必要に応じて2～3%の水で調整する。
- ③ 模様塗りをした塗膜の上に、1回目同様に、セブンウォール主材2回目を $1.0\text{kg}/\text{m}^2$ をむらなく重ね塗りする。
- ④ 所定の模様になるように多孔質ローラーの運行を調整する。
- ⑤ 24時間以上乾燥させ、次工程に入る。

5. 上塗り

セブンウォールトップW-SSは、主材層の汚れを防ぎ、美観を保持するため、使用します。水性セブンウォールトップW-SSは、だれ、むらなどに注意して、エアレススプレー、ローラー、刷毛などで均一に規定量を2回塗りして仕上げる。

水性セブンウォールトップW-SSは、清水0～20% (重量比) 希釈し、よく混合した後、(2回塗り) 所要量 $0.3/\text{m}^2$ を使用して仕上げる。

注意事項

1. 施工上の注意事項

- ① 施工途中、乾燥途中で雨が降ってきたときは、少なくとも塗膜が乾燥するまでテントなどで覆って流出しないように処置する。
流出した場合は全面除去して再施工を行う。一部が流出した場合は、その箇所を切り取り、セブンウォール主材をコテまたは、ヘラなどで塗り付け、予め下地を作成し、塗り継ぎがないように塗付ける。
- ② 施工完了後、汚れ、傷などが表面に生じたときは、主材または、上塗り材にて再施工する。
- ③ 養生テープは、施工後、直ちに取り外す。
時間が経った時は、必ずナイフカットして取り外す。
- ④ 乾燥途中で水をかけない様にする。
- ⑤ 汚染箇所は拭き取る。
- ⑥ 引渡しにあたっては、足場解体前に、現場係員の立ち会い検査を行う。

2. 保管上の注意事項

- ① 風雨、直射日光を避け、常温保管を心掛ける。
- ② セブンウォール主材、玉吹材、トップWSSの保管は0℃以上の場所で保管する。

使用材料一覧表

| 製品名 | 容量 | 荷姿 |
|------------------|---------------------|-----------------------|
| セブンSシーラー | 14kgセット 4kgセット | 石油缶 基剤硬化剤比 13:1 |
| 水性セブンシーラー | 11kgセット 3.3kgセット | 石油缶 基剤硬化剤比 10:1 |
| セブンウォール主材 | 18Kg | 石油缶 |
| 水性セブンウォールトップW-SS | 15Kg | 石油缶 |



東京都新宿区西新宿7-17-14(源共同ビル)
TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619
e-mail kuroyanagi@seven-chemical. co. jp
e-mail hukuda@seven-chemical. co. jp